DTPデータ変換ソフト(印刷/ファイル出力)

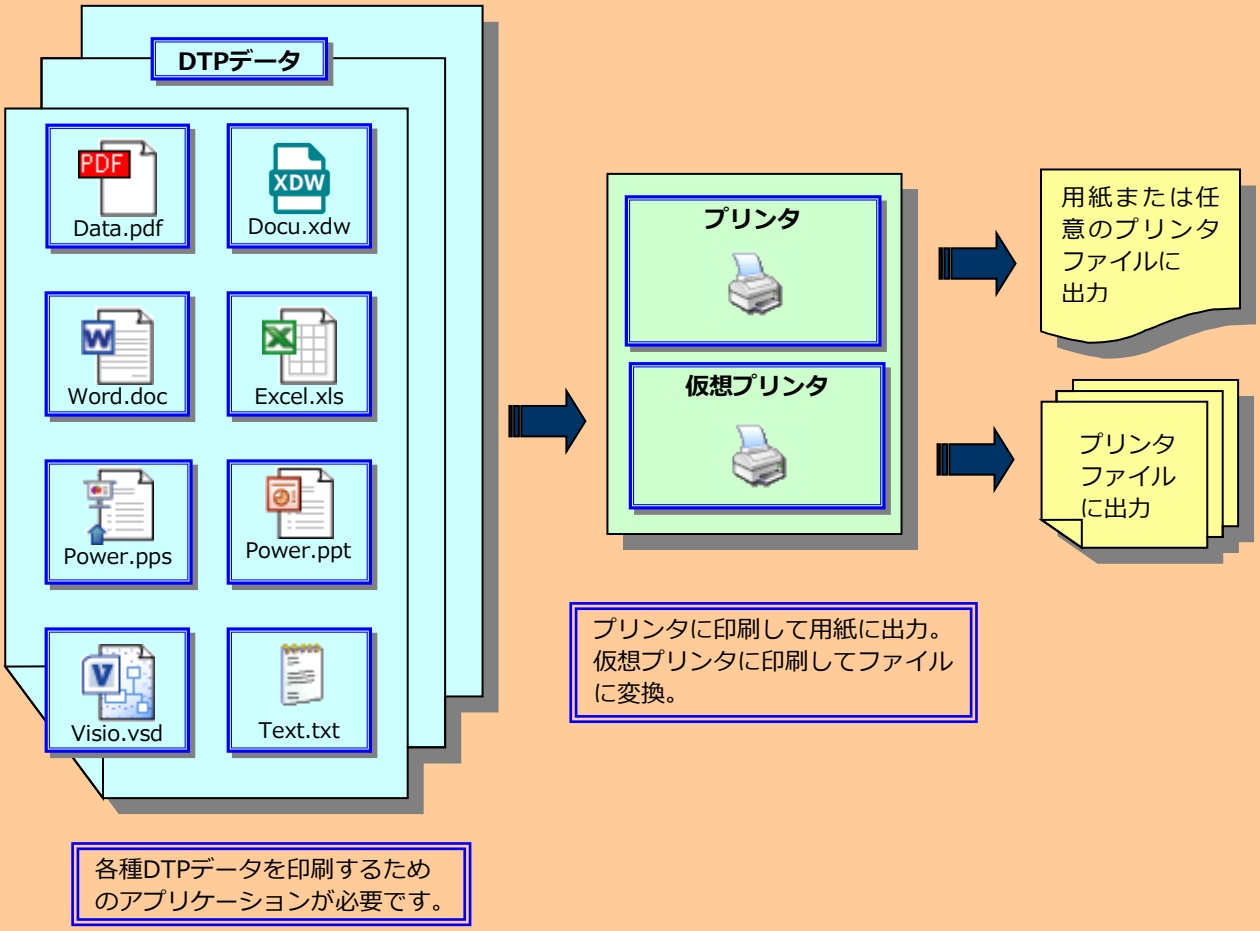
-DTP2PRN-

DTPデータ変換ソフト(印刷/ファイル出力)簡易マニュアル

KCS カーネルコンピュータシステム

各種DTPデータをプリンタドライバに印刷します。

PDF印刷はAcrobatライセンス不要です。



特 長

- Windowsプリンタドライバを経由することで高品質な変換が可能
- コマンドライン形式(DOS操作)、GUI形式(画面操作)の双方をサポート。1つの製品で両形式使用可能
- システムへの組み込みや標準機能としてバッチファイルを利用したフォルダ単位の一括変換が可能
- オプション製品と組み合わせることで自動監視付き変換などが可能
- PDFファイルの印刷は「関連付けアプリによる印刷」モード、「独自のPDF印刷」モードから選択
- PDFからPDF、XDW(XBD)からXDW(XBD)への変換は不可

動作環境

Windows	7, 8, 8.1, 10, 11 Server 2008, Server 2008 R2, Server 2012, Server 2012 R2, Server 2016, Server 2019, Server 2022, Server 2025

※文書ファイルの変換を行うアプリケーション(Microsoft Office, DocuWorksなど)の動作環境に依存

標準価格

型番	製品名	概要	価格(税抜き)
KD-PRT0502	DTP2PRN	各種DTPデータをプリンタへ印刷します。 仮想プリンタへ印刷することで各種ファイルへ変換します。 ・Microsoft XPS Document Writer → XPS ・Autodesk DWF Writer → DWF ・DocuWorks プリンタ → DocuWorks (XDW/ XBD) ・KDdriver for Windows → ラスター(イメージ) ・KD Driver Long PDF Driver → PDF	40万円

注意事項

- アプリケーションの印刷機能を利用してファイルを作成するため、変換するファイルのアプリケーションが必要になります。PDF印刷機能はパッケージに含まれます。
- 印刷に使用するアプリケーションで正常に印刷できる必要があります。アプリケーションで対応していないバージョンのデータなどは正常に印刷できない場合があります。
- 出力に関するデータ処理はすべてアプリケーションに依存します。Microsoft Officeでマクロ命令を利用して画面にダイアログメッセージを出力し停止するような場合や、セキュリティ機能によりパスワードを求めるダイアログメッセージを出力し停止するようなデータなどは、変換ソフトもその時点で停止するので注意していただく必要があります。
- 確認済みの仮想プリンタは以下の通りです。ご利用の際は、それぞれのライセンス規約に準拠する必要があります。
  『弊社KDdriverシリーズ』
  『Autodesk DWF Writer』
  『Microsoft XPS Document Writer』
  『DocuWorks Printer』
  『KD Driver Long PDF Driver』
- パッケージにはKD Driverシリーズは搭載されません。
- DTP2PRNは64ビット環境で32ビットアプリケーションとして動作します。
- Officeデータ変換処理に使用するアプリケーションは、Office 2019、Office 2021、Office 2024, Microsoft 365, Visio 2019, Visio 2021, Visio 2024は32ビットおよび64ビットアプリケーションに対応しています。それら以外は32ビットアプリケーションのみ対応しています。
- Microsoft 365の対応バージョンはHPの詳細ページでご確認ください。

機 能

- プリンタへの印刷
- DocuWorksプリンタを利用したXDW，XBDファイルへの変換
- Microsoft XPS Document Writerを利用したXPSファイルへの変換
- Autodesk DWF Writerを利用したDWFファイルへの変換
- KD Driverを利用したラスターファイルへの変換
- シングルページ／マルチページ出力指定
- PDF入力処理時、用紙サイズの自動認識指定
  自動認識をする場合、入力データの用紙サイズを自動的に判別して出力データへ反映
  自動認識をしない場合、設定されている用紙サイズで出力
- セキュリティの設定機能(PDF出力とXDW出力)
- ログファイルの出力
- ページ分割の指定
- バッチ処理(フォルダ単位の拡張子による一括変換)
- KD Driver Long PDF Driver または PDF ファイル出力用プリンタを利用した PDF ファイルへの変換

変換対象データ	拡張子
Microsoft Wordデータ	doc, rtf, dot, txt, docx, docm, dotm
Microsoft Excelデータ	xls, xlsb, xlw, xjs, csv, xlt, xlsx, xltx, xlsm, xltm
Microsoft PowerPointデータ	ppt, pps, pot, pptx, potx, pptm, potm, ppsx, ppsm
Microsoft Visioデータ	vsd, vss, vst, vsdx, vsdm
PDFデータ	pdf
DocuWorksデータ	xdw, xbd, xct ※
HTMLデータ, XMLデータ	htm, html, xml

※ DocuWorksの入れ物(xct)を変換するにはDocuWorks 9.0.1以降が必要です。

アプリケーション	対応バージョン
Microsoft Word (※)	XP, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021, 2024, 365
Microsoft Excel (※)	XP, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021, 2024, 365
Microsoft PowerPoint (※)	XP, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021, 2024, 365
Microsoft Visio (※)	2002, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021, 2024
DocuWorks (※)	6(6.2.6以降), 7, 8(8.0.3を除く), 9.0, 9.1, 10
PDF変印刷機能 任意のPDFビューア	
Internet Explorer	7, 8, 9, 10, 11

※ データ閲覧用として無償配布されているビューアでは動作しません。それぞれの有償の製品版が必要です。

操 作 方 法

コマンドライン操作

コマンドラインからの基本操作は、コマンドプロンプトを起動し、変換する入力ファイル名、出力ファイル名、変換に関する各種設定情報を入力して実行し、変換を行います。

```
DTP2PRN 入力ファイル名 -各オプション
```

たとえば、入力ファイル(Sample_file.pdf)を印刷して、印刷結果をファイル名(test.xdw)に出力するには、次のように入力します。

```
> DTP2PRN Sample_file.pdf -Otest.xdw -Udpr_in.atr -LOGerror.log
```

※ インストールパスが "c:¥kernelcomputersystem¥dtp2prn" の場合、それぞれ指定されたファイルは、プログラム内部で以下のフルパスに置き換えられて変換を実行します。

入力ファイル名	: Sample_file.pdf	→	"c:¥kernelcomputersystem¥dtp2prn¥Sample_file.pdf"
出力ファイル名	: test.xdw	→	"c:¥kernelcomputersystem¥dtp2prn¥test.xdw"
変換属性ファイル名	: dpr_in.atr	→	"c:¥kernelcomputersystem¥dtp2prn¥dpr_in.atr"
ログファイル名	: error.log	→	"c:¥kernelcomputersystem¥dtp2prn¥error.log"

【コマンドライン操作の仕様】

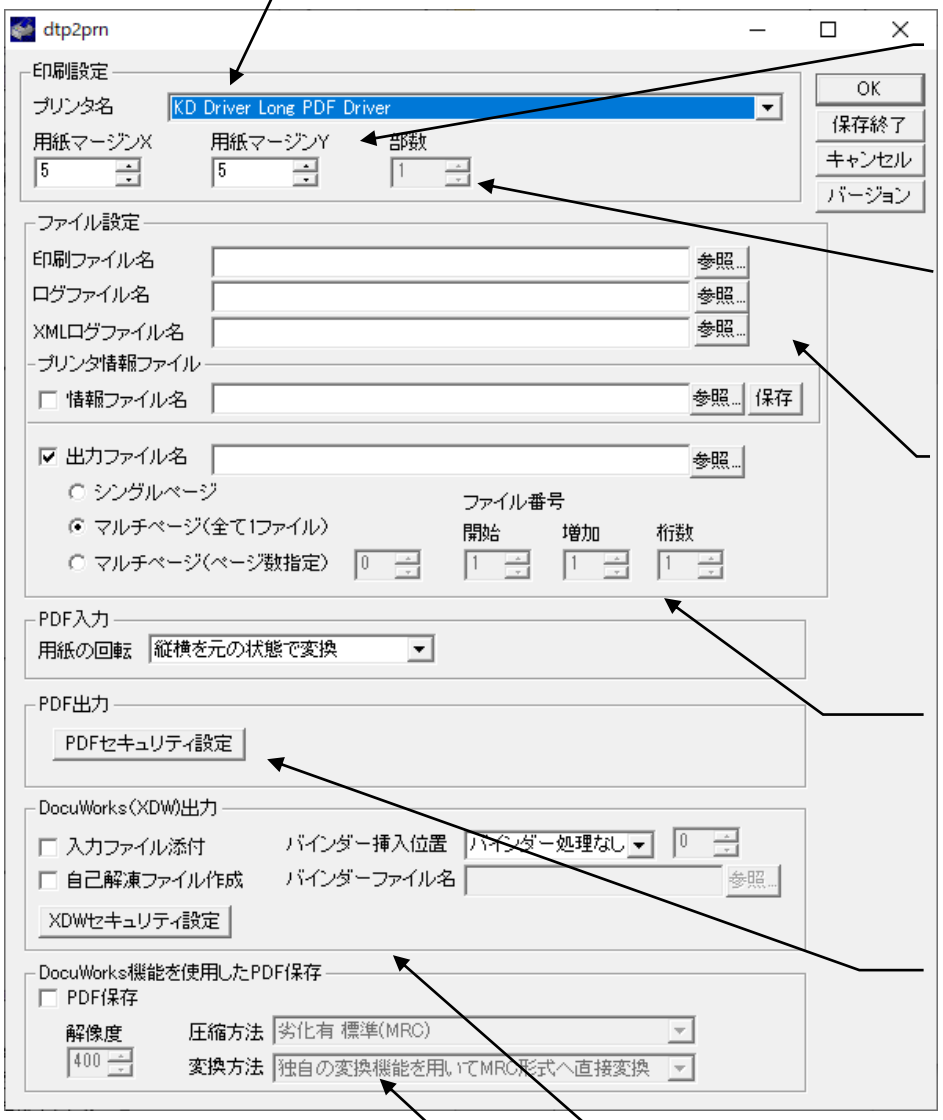
- 変換に関する各種設定(シングルページ出力・マルチページ出力、ファイル番号など)は変換属性ファイルで行います。
  変換属性ファイルはテキスト形式のファイルで、変換に関する各種設定を弊社で決められた方法で記述します。
- 使用するプログラムについてはカレントフォルダ(現在作業中のフォルダ)に対して相対パス、または絶対パスで指定することができます。プログラムをインストールしたフォルダで作業する場合、パス名を省略できます。
  変換元ファイル(入力ファイル)、出力ファイル、変換属性ファイル、ログファイルについても同様の扱いとなります。
- 「-O」は出力ファイル名を指定するオプションです。
  マイナス記号とアルファベットの「オー」です。
  大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。
  また、「-O」と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。
  その他のオプションについても同様に扱います。
- 変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じ名前を指定することはできません。
- エラー情報や変換状況をカレントフォルダにログファイル名(err.log)で自動的に出力します。
- 相対/絶対パスを指定する場合においてパス名に空白がある場合には、ダブルコーテーションを使用してください。

GUI操作

【GUIからの操作】

- プログラムを起動すると下記GUIが表示されます。変換に必要な情報を各項目に設定していきます。
  設定後、実行(OKボタンをクリック)すると印刷/変換が開始されます。
  処理が終了すると、設定内容に従った変換結果(用紙、またはファイル)が出力されます。
- 各項目の情報は保存され次回の変換にそのまま使用することができます。

【GUI操作画面】



プリンタドライバ名
使用可能なドライバ一覧から印刷で使用するプリンタドライバを設定します。

用紙サイズマージン
入力するデータの用紙サイズ判定時の誤差範囲を指定します。

印刷部数
部数を指定します。ファイル出力時には1固定です。

ファイル設定
入力ファイル名、出力ファイル名、ログファイル名、XMLログファイル名、プリンタ情報ファイル名を指定します。

出力形式
シングル、またはマルチページの指定、ページ番号の付加方法を指定します。

セキュリティ設定
出力するPDFファイルに設定するセキュリティを指定します。

DocuWorks出力設定
ファイル添付、自己解凍、セキュリティ、バインダ設定の指定をします。

PDF出力設定
DocuWorksの機能を使用した、PDF保存指定をします。

操 作 例

例1　Pdf_Data.pdfを印刷

```
> DTP2PRN  Pdf_Data.pdf
```

※ Pdf_Data.pdfを印刷。エラーや変換状況は実行したフォルダにログファイル名(err.log)で作成。

例2　任意の変換属性ファイルを作成し、入力ファイル(Sample_file3.pdf)を印刷後、任意のログファイルにエラー情報や変換状況を出力

```
> DTP2PRN  Sample_file3.pdf  -Udpr_in_test.atr  -LOG"c:¥log¥abcd.log"
```

(各パラメータについて)
dpr_in_test.atr　　：任意の変換属性ファイル名。
"c:¥log¥abcd.log"　：ログファイル名(絶対パスを指定)。
※ 任意の変換属性ファイルは、初期設定の変換属性ファイルをコピーしてファイル名を変更したファイルや変換属性ファイルに使用されているパラメータを含む内容のファイルです。

例3　アプリケーションのバージョン情報を出力

```
> DTP2PRN  -QV  -LOGver.log
```

(各パラメータについて)
-QV　　：実行ファイル名とバージョン情報を表示するオプション。
ver.log　　：ログファイル名。
※「-QV」と「-LOG」を同時に指定した場合は、指定したログファイルにアプリケーションのバージョン情報を書き出します。

例4　PDFファイルの情報をファイル出力

```
> DTP2PRN  data.pdf  -QS
```

(各パラメータについて)
-QS　　：PDF情報出力ファイル名(初期設定:pdf_inf.txt)を指定するオプション。
※ PDF情報出力ファイルは、PDFファイルに関する情報を書き出して出力するファイルです。
※ PDF情報出力ファイル名の指定が省略された場合は、初期設定のファイル名(pdf_inf.txt)に情報を書き出します。

例5　PDFファイルの情報を任意のファイルへ出力

```
> DTP2PRN  data.pdf  -QSjouhou.txt
```

(各パラメータについて)
jouhou.txt　　：任意のPDF情報出力ファイル名。

例6　バッチファイルからの実行(フォルダ単位の拡張子による一括変換)
バッチファイルで記述された内容の処理を実行します。
複数のファイルやフォルダ内のすべてのファイルを一括で変換する場合に使用します。

任意の名称(test.txt)で以下のようにバッチファイル(テキスト形式)を作成します。
・バッチファイルの内容

```
C:¥TEST_1¥sample1.pdf
C:¥TEST_2¥sample2.doc  -PRINTER"EPSON LP8200C"
C:¥TEST_3¥sample3.xls
```

(各パラメータについて)
-PRINTER　　：印刷先のプリンタを指定するオプション。
以下の順番で処理を行います。
① C:¥TEST_1¥sample1.pdfの用紙サイズを反映して属性ファイルで指定されたプリンタに印刷。
② C:¥TEST_2¥sample2.docを "EPSON LP8200C" プリンタに印刷。
③ C:¥TEST_3¥sample3.xlsの用紙サイズを反映して属性ファイルで指定されたプリンタに印刷。

・コマンドライン入力と画面表示

```
> DTP2PRN  -BATCHtest.txt
```

(各パラメータについて)
-BATCH　　：フォルダ単位の一括変換を行うために使用するオプションパラメータ。
test.txt　　：バッチファイル名。
※「-BATCH」で指定された任意のバッチファイル名(test.txt)の内容に従い処理を行います。

例7　バッチファイルを使用して、プリンタドライバを設定した場合の印刷
例6と同様にバッチファイルに記述された内容の処理を実行します。

任意の名称(test.txt)で以下のようにバッチファイル(テキスト形式)を作成します。

・バッチファイルの内容

```
C:¥TEST_1¥sample1.pdf
C:¥TEST_2¥sample2.doc  -PRINTER"EPSON LP8200C"
C:¥TEST_3¥sample3.xls
```

・コマンドライン入力と画面表示

```
> DTP2PRN  -BATCHtest.txt  -PRINTER"CANON LESER SHOT LBP-750"
```

以下の順番で処理を行います。

① C:¥TEST_1¥sample1.pdfを "CANON LESER SHOT LBP-750" に印刷。
② C:¥TEST_2¥sample2.docを "EPSON LP8200C" プリンタに印刷。
③ C:¥TEST_3¥sample3.xlsを "CANON LESER SHOT LBP-750" プリンタに印刷。

制 限 事 項

・管理者権限を持たないユーザーで本製品を使用する可能性がある場合はインストーラに設定されているフォルダにインストールしてください。

・本製品は並列処理(本製品で同時に複数処理)することはできません。

・本製品はログインされた状態で使用してください。ログオフ状態では正常に動作しません。ロック状態であれば動作します。

・本製品はサービス上で実行することはできません。また、サービス上で実行しているアプリケーションからの呼び出しにも未対応です。

・本製品は処理時に "通常使うプリンタ" を変更する場合があります。本製品使用時には印刷処理を行わないようにしてください。

・SJISで表現できないファイル名には対応しておりません。

・インストールマシン以外のネットワーク上のマシンから、リモート呼び出しによる変換はできません。

・本製品が異常終了した場合は、本製品で使用するアプリケーションがタスク上に残る場合があります。その場合はタスクマネージャ等で終了させてください。

・本製品の動作中にLOGファイル等の関連ファイルへのアクセス(参照、コピー等)は行わないでください。

・変換(印刷)中に処理を途中でキャンセルすることはできません。また、変換(印刷)中には、他のオペレーション等は行わないでください。処理が止まる、エラーが発生する場合があります。

・本製品には "変換対象となるファイルに関連付けされていて、ファイルを開くことのできるアプリケーションの印刷機能を利用して変換を行う機能" があります。この機能を利用する場合は、ご利用環境で各アプリケーションの印刷機能が正常に動作することが前提条件になります。

・"文書ファイルに関連付けされたアプリケーションの印刷機能" を利用して出力された結果の内容については、変換を行った際に使用した各アプリケーション(Office等)で、変換時に使用したプリンタへ印刷した結果に依存します。変換結果に問題がある場合には、文書ファイルを各アプリケーションで開いて印刷を行い、変換された結果を確認してください。

・ファイル変換する文書ファイルの対象となるアプリケーション(Officeなど)は、変換時には終了させてください。また、変換中にもアプリケーションを起動することはできません。起動した場合には、エラーになる場合があります。

・ファイル変換する文書ファイルの対象となるアプリケーション(Officeなど)上で発生したエラーについては対応していません。アプリケーションが終了していない場合はタスクマネージャから処理を中止してください。

・本製品は64ビット環境で32ビットアプリケーションとして動作します。

・Officeデータ変換処理に使用するアプリケーションは、Office 2019、Office 2021、Office 2024、Microsoft 365、Visio 2019、Visio 2021、Visio 2024は32ビットおよび64ビットアプリケーションに対応しています。これら以外は32ビットアプリケーションをご利用ください。

・Officeのバージョンアップにより機能や仕様に変更があった場合、弊社製品の動作や変換結果に影響を及ぼす可能性があります

・変換する文書ファイルにマクロ機能やパスワードの入力等で何らかのダイアログが表示される場合は、変換処理が止まる場合があります。文書ファイルのマクロやパスワードを削除して再起動してください。

・WindowsのOSを長時間(数ヶ月単位)再起動せずに使用すると環境によりWindowsの動作が不安定になる場合があります。これは、弊社アプリケーションのみの問題ではなく、Windowsを含む、利用されるすべてのソフト･ドライバの複合要因であり、このような現象が発生した場合、原因の特定および回避はすべてのアプリケーションが関係するため、対応が不可能です。長期間連続運用を行う場合、上記の問題

が発生することがありますので、定期的にWindowsの再起動を奨励致します。

・Excelデータの表示とDTP製品で変換(印刷)した結果で、使用するプリンタドライバの解像度設定などが異なることにより、印刷範囲やセルの幅高が変更される場合があります。そのために文字列の改行位置や改ページ位置、縦横の縮尺が異なる場合があります。

・DTP2PRNが異常終了した場合には、属性ファイル(dpr_in.atr)の内容が変わっている可能性がありますので再度実行する場合はファイルの内容を確認してください。また、アプリケーションがタスク上に残っている場合はタスクマネージャ等で終了させてください。また、PARA.TXTが残っている場合は削除してください。

・"用紙サイズを反映する" として印刷中に異常終了や強制終了した場合、インストールフォルダに「0.pdf」、「1.pdf」や「0.xdw」、「1.xdw」が残っていることがあります、このファイルはマルチページを分割したファイル(作業用ファイル)ですので削除してください。

・PDF, XDW, XBD以外のデータを印刷した場合の結果は、印刷を行うアプリケーションと選択されているプリンタの設定に依存します。

・XCTデータはプリンタへの印刷のみに対応しています。

・入れ物(xct)を変換するには、DocuWorks 9.0.1以降が必要です。

・Office等でマクロが使用されている場合、印刷中や終了処理の際に止まる場合があります。ダイアログを手動で対処するかマクロを削除して再起動してください。

・印刷プリンタとして弊社製品KDdriver for Windowsを使用の際、KDdriver for Windowsの設定に依存した状態で結果ファイルが出力されます。シングルページやマルチページ、結果のファイル名指定などを任意に指定することはできません。

・PDFファイルのセキュリティ設定を解除するにはパスワードが必要です。

・プリンタドライバを経由してファイル保存する場合は拡張子を正しく入力してください。XDW出力は拡張子を元に処理を行っています。

・ファイル出力する場合の印刷部数は1固定とします。

・入力ファイルの添付機能は、シングルページまたはマルチページ(ページ指定)出力の場合は最初のページのみにファイルを添付します。

・プリンタの用紙切れや紙詰まり等で印刷ジョブが終了できない場合にはDTP2PRNが終了しない場合があります。

・連続で異なるプリンタに印刷する場合に、通常使うプリンタを切り替えていても、切り替え前のプリンタに印刷される場合があり、処理が止まってしまう場合があります。止まってしまった場合には、タスクマネージャより、終了してください。異なるプリンタに印刷を行う場合には、印刷物が完全に出力されてから次の印刷を実行してください。

・DocuWorksファイルをKD FAXドライバで変換すると、縦横の解像度を正しく変換することができません。

・DocuWorksの自己解凍ファイル作成機能は、実行環境にインストールされているDocuWorksのバージョンが6.2.6 ～ 8.0.7(8.0.3は除く)の場合に使用できます。

・PDFファイルからPDFファイル、XDW(XBD)ファイルからXDW(XBD)ファイルへの変換は行えません。

・印刷はエクスプローラ上で、ファイル選択後右ボタンの印刷と同様の動作をします。この動作で印刷実行できないファイルは、DTP2PRNでも印刷できない可能性があります。

・印刷時にスプール終了待機時間がWAITを超えた場合、スプールの終了を待たず、DTP2PRNを正常終了として終了します。上記該当ケースは以下のようなものが考えられます。

1. 印刷データが大きく、正常に印刷中であっても、WAITを超えてしまう場合。
2. プリンタの電源が入っていない、用紙が無い、その他プリンタ側の問題で出力されない場合。
3. プリンタドライバでオフラインその他、正常にスプールされない状態となっている場合。

・変換を行うマシンとは別のマシンで作成した、用紙サイズがA3以上のVisioファイルを変換すると分割されて出力される場合があります。

・PowerPoint2010環境において拡張子PPSファイルの処理を行う際に、正常に処理できません。

・ファイル保存ダイアログが表示されるプリンタに印刷する際にタイムアウトすると、変換に使用するアプリケーションを終了する際に、ファイルダイアログがハングアップする場合があります。

カーネルコンピュータシステム株式会社
https://www.kernelcomputer.co.jp

パッケージ販売部
〒221-0056 横浜市神奈川区金港町6-3横浜金港町ビル
TEL　045-442-0500
FAX　045-442-0501